

男女共同参画委員会企画

## JOYFUL通信

## ◆◆◆ 女性整形外科医のさらなる一步を応援したい

広島大学整形外科  
中島 祐子

女性の整形外科医…珍しいと言われるけれど、別に特別ではありません。日整会会員のわずか「6.9%」ですが、実数にすると1800名を超える大切な仲間たちです。もしその仲間たち全員と友達になれたら素敵だろうな、と思います。

整形外科医を志してから、はや25年。女性の活躍推進が今ほど取り上げられていなかった時代に子育てしながら仕事をしてきた私は、特別扱いに長く甘え過ぎてしまった気がします。「職場に来るだけで100点」「いつでも休んでいいから」「責任ある仕事は他の人に任せるから無理しないで」。もしもこのような優しい言葉に、何も考えずにずっと甘えていたら、確実に戦力外医師になってしまいます。私は今も劣等感と向き合いながら過ごしていますが、そこを少し救ってくれているのが運動器エコーです。他の人よりちょっと楽しいと思えて、ちょっとラクにこなせるものに出会えたら、それはきっと自分の得意分野になります。なんでもこなせるスーパーウーマンにならなくても、限られた時間の中でひとつでも人に頼られる仕事があれば、それで幸せを感じることができます。必要なのは自分を育てようとする気持ち、そして自分の選択した道を「正解」と思えるように努力することだと思っています。ただ実際のところは、

私自身、選択した道に後悔もあります。しかしその分、今は人の背中を押したいと思うようになりました。女性医師のための運動器エコーセミナー「E-Girls Project」も、その活動のひとつです。普段少数派の女性整形外科医たちから学びたい欲が溢れ出ており、集まると非常にパワフルで、この力が眠っているとしたら日本の医療界の損失だとまで感じました。当初逆差別だと思われるかも、という意見もありましたが、このようなコミュニティがまだ必要であることは確かです。何かを通して、誰かが一歩踏み出すことができるのなら、それを全力で応援したいと思います。

どんな自分になりたいか？来年の自分、5年後、10年後の自分を想像して、どうすれば自分の思い描く未来に近づけるか、具体的に考える時間を頻繁に持ってもらいたいです。日常の小さな目標を小さな背伸びをして一つずつこなしていく喜びを自信に変えて成長してほしいと思います。若いうちは貪欲に学び、さらにはあとで必ず役立つ「信頼の貯金」をしてほしいと思います。そして必要不可欠なのが、限りある時間で最大限の能力が発揮できるような道筋をつくってあげられる、本当の優しさを考

えられる上司です。環境や雰囲気づくりに加えて、医師としての評価が大切だと感じます。周りに迷惑をかけているという罪悪感ではなく、「私は必要とされている」という充実感を与えてあげてほしいです。

それでも、仕事が優先とされない時もあるでしょうし、自信がなくなる時も孤独感でしんどくなる時もあるかもしれません。私自身も子育てが落ち着きつつある今、親の介護に直面しています。そんな時は、決して一人じゃないことを心に留めておいてほしいです。是非さまざまな環境に置かれたたくさんの女性医師と知り合ってほしいです。

頑張る人が輝ける、今後多くの女性医師が輝き、リーダーとして活躍できる社会になれば、と心から願っています。



2023年E-Girls Project（女性医師のための運動器エコーセミナー）